

# 事業効果と SIB導入の課題・所感

～群馬県前橋市～



BABAKKAWA  
URBAN DESIGN  
PROJECT





## Ⅰ 目的

地域まちづくり勉強会や公共空間の利活用に関する社会実験などにより、地域コミュニティの再生及びエリア価値の向上に資する取り組みを支援し、**賑わいのある中心市街地の実現を図る**

## Ⅰ 受託者

一般社団法人 前橋デザインコミッション（都市再生推進法人）

## Ⅰ 委託期間

令和3年9月16日～令和6年7月31日



## ■ 具体的な内容

### ①まちづくり勉強会開催事業:3回 → 8回実施

地域の課題や将来のあるべき姿について共有し、エリアマネジメント活動に主体的にかかわる人材を育成する。

### ②社会実験実施事業:2回 → 3回実施

公共空間及び低未利用地の利活用の検証を行い、新たなエリアマネジメント活動創出のきっかけづくりを行う

### ほか任意事業 26回実施

環境維持・美化活動、リノベーション活動、  
その他アーバンデザインに基づく事業



つながる舞台がズラリ! 「MARCHEエリア」



マーケット、グルメ、多様な活動が1区画でつながり、活気あるお祭り会場。



蕨美人形のコーナー周辺に、マルシェらしい賑わいと活気がある。内装が自然素材の壁と木の温もりを感じる。自然素材の壁(アサギスギ)、木目、暖かな照明が特徴的。



芝居小屋のイラストレーター「サトウカズ」さんのTBC。丸いコマが特徴的で5区画に広がっています。

親子で楽しむ「KIDSエリア」



アークに設置された「木」の遊具。木、木製玩具の「木」の遊具。木製玩具「木」の遊具。



水と緑と音楽の「MUSICエリア」



プロ演奏するミュージシャンの演奏、マルシェの賑わいと音楽の楽しさを演出。



音楽のイベントは、自然の音と音楽の音、水と緑の音楽の楽しさを演出。



水と緑と音楽の「PETエリア」



マルシェに音楽が響く「水と緑の音楽」のイベント。マルシェの賑わいと音楽の楽しさを演出。



マルシェの賑わいと音楽の楽しさを演出。マルシェの賑わいと音楽の楽しさを演出。



丸いコマ「水と緑の音楽」のイベント。マルシェの賑わいと音楽の楽しさを演出。





## ■ 具体的な取組みの効果

- ・ **歩行者通行量(来街者)の増加**  
既存計画に紐づいた目標値の達成



- ・ **エリアマネジメント団体の設立**  
沿道の商店街組合とまちづくり人材が融合した  
「馬場川通りを良くする会」の発足

- ・ **空きテナントの減少**  
9件 → 2件



## ■ 今後の展望

### ・民間投資の活発化

事業により創出されたエリアマネジメントの継続により、エリア価値の向上が進むことで、周辺での開発行為などの民間投資の増加が期待される。

### ・他エリアでのエリアマネジメントの実践

今回の取組みをロールモデルとし、他エリアでのさらなる取組みの活性化へとつながる。

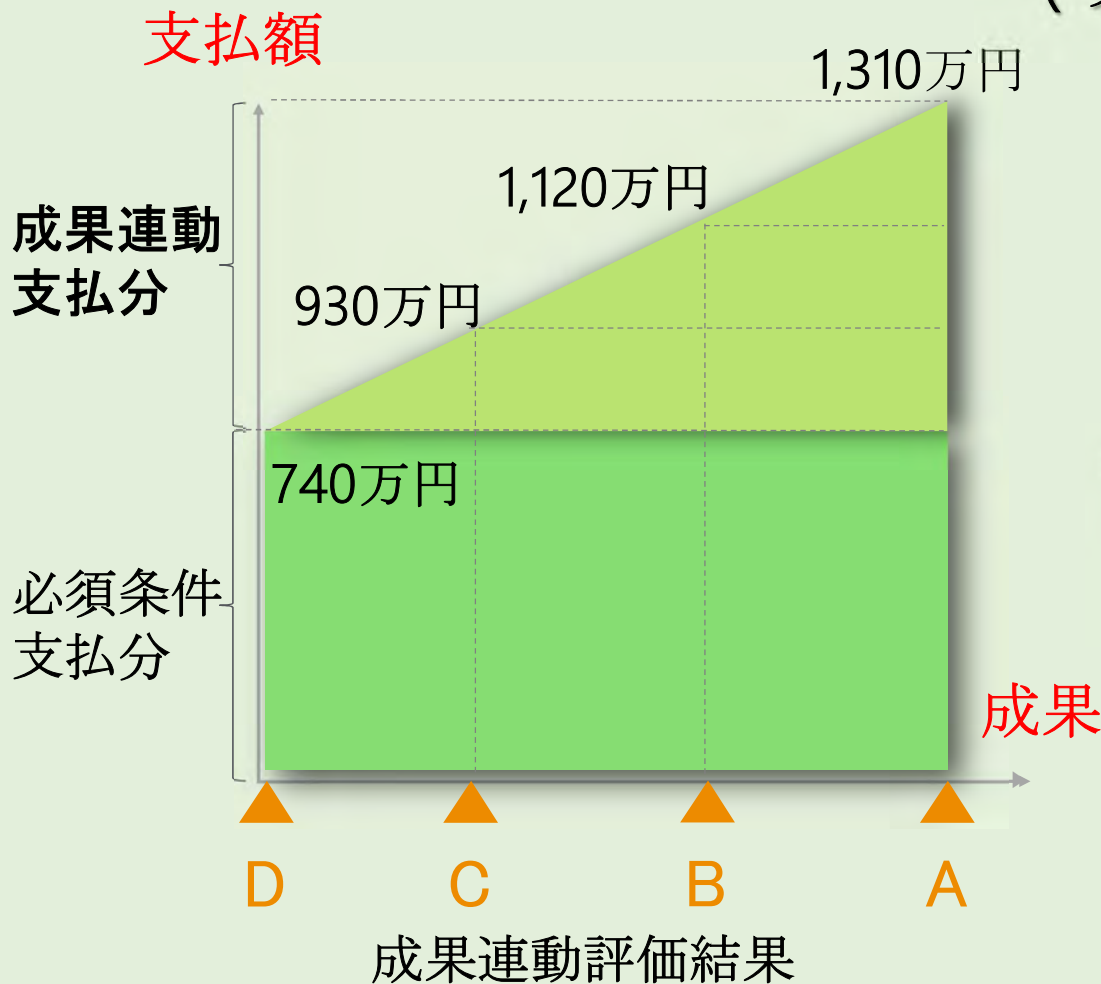
# SIB導入の課題





## 結果・達成状況

馬場川通りにおける通行量  
(発注前：46,456人/月)



A: 50,432人以上  
B: 47,910人以上  
C: 45,388人以上  
D: 45,387人以下

※目標値の設定

標準的な推計値をベースライン(C)とし、  
中心市街地活性化基本計画の目標値を上限値(A)として、  
中間値(B)、標準以下(D)を設定

**測定結果**  
(令和6年6月測定値)

**51,039人 = A評価**



## 前例のないまちづくり分野

- データの蓄積や参考例がない
- 評価方法が確立していない



## 課題

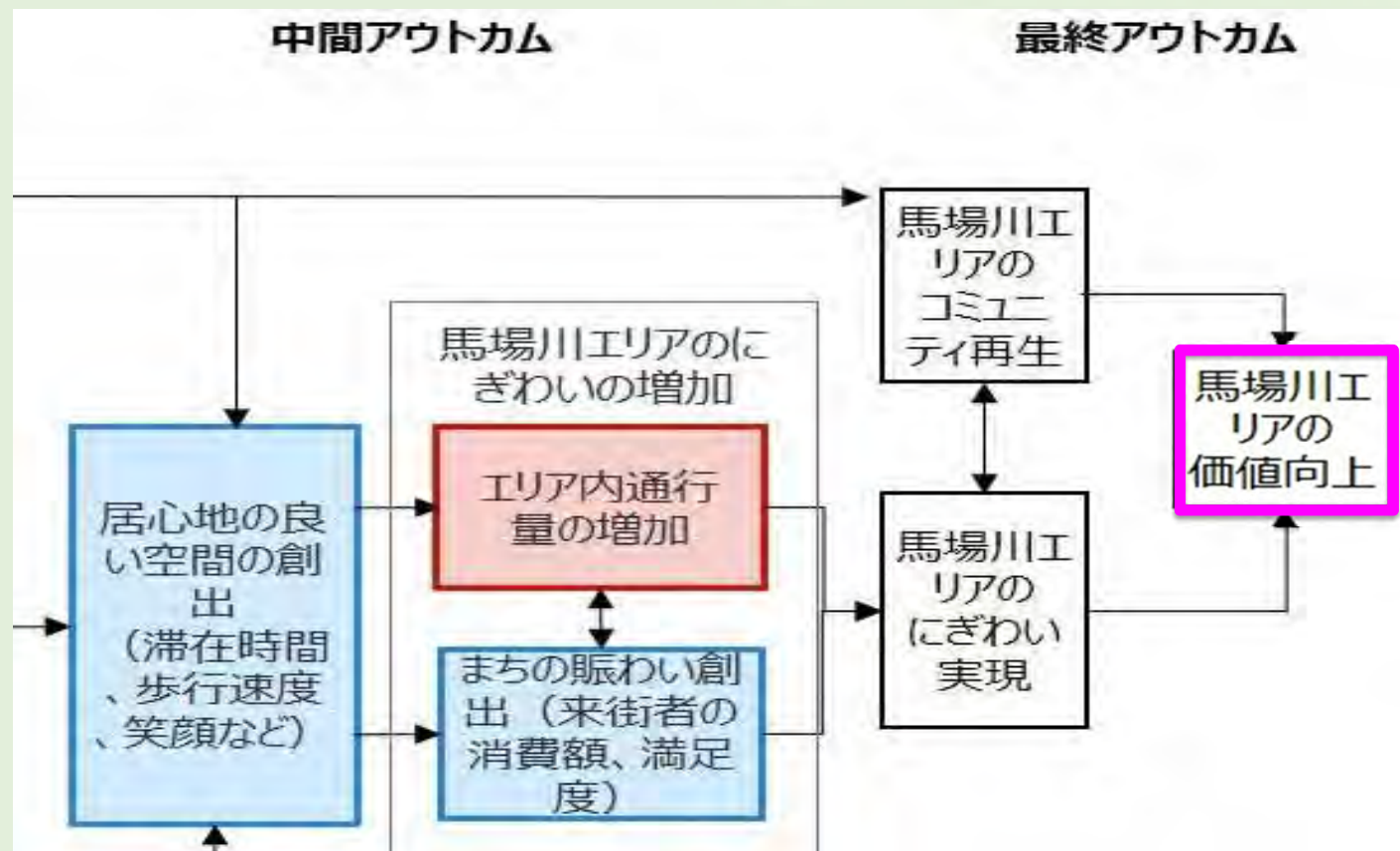
- 成果指標と目標値  
の妥当性の判断及び対外的説明
- 資金提供者の協力



## 成果指標・目標値の設定

事業を通じて目指す最終アウトカム = 馬場川エリアの価値向上

➡ 賑わいのある中心市街地の実現





## ■ 成果指標・目標値の設定

過去からの蓄積データ  
(トラフィックカウンター)

前橋市中心市街地活性化基本計画

国土交通省資料

(まちの活性化を測る歩行者量調査のガイドライン)

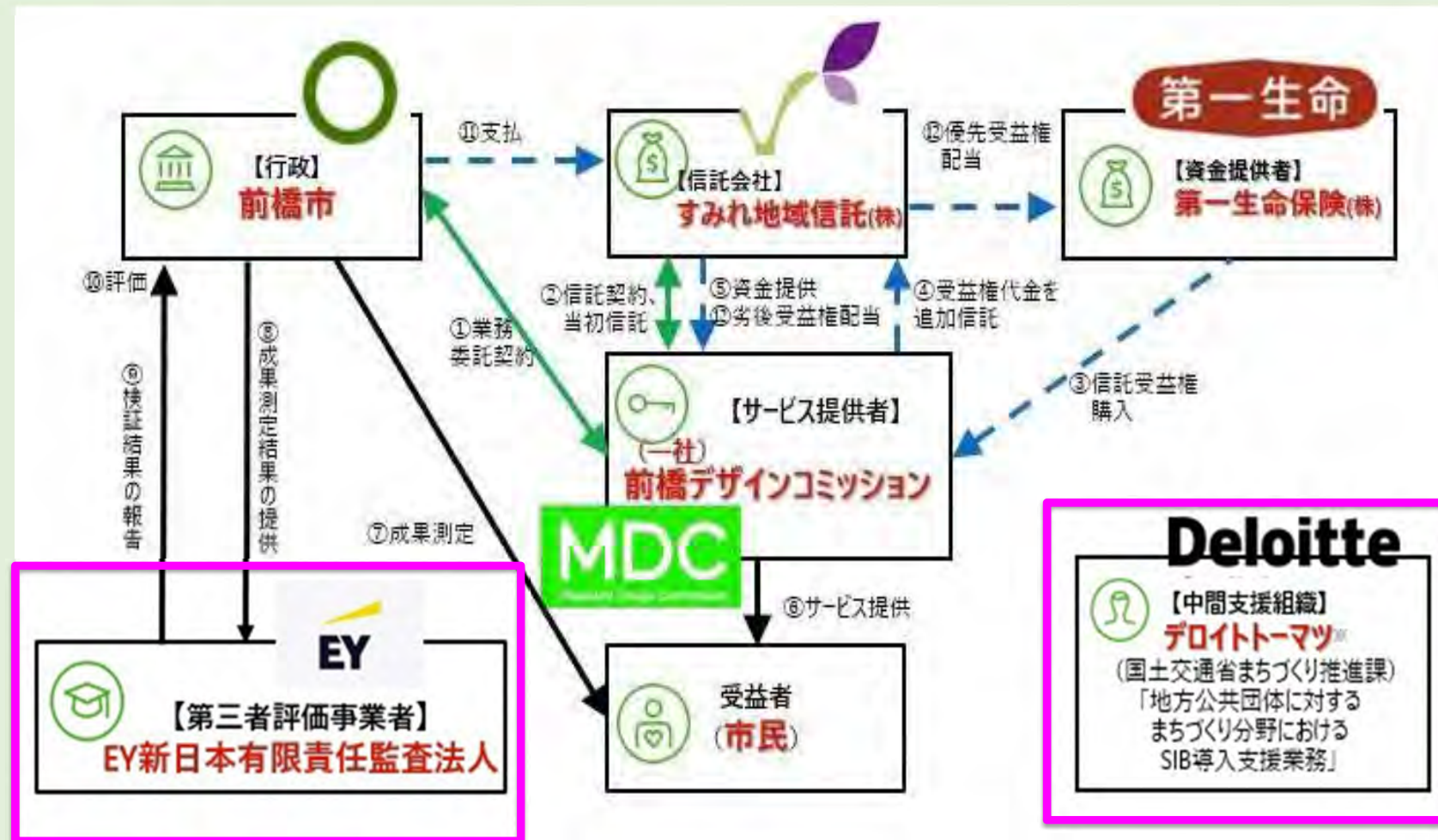


成果指標  
「歩行者通行量」



## 成果指標・目標値の設定

本件をモデルとし、「**歩行者通行量**」の指標としての妥当性を判断





## ■ 成果指標・目標値の設定

エリアの価値向上 = 質的变化



客観的指標として計測が現状では困難

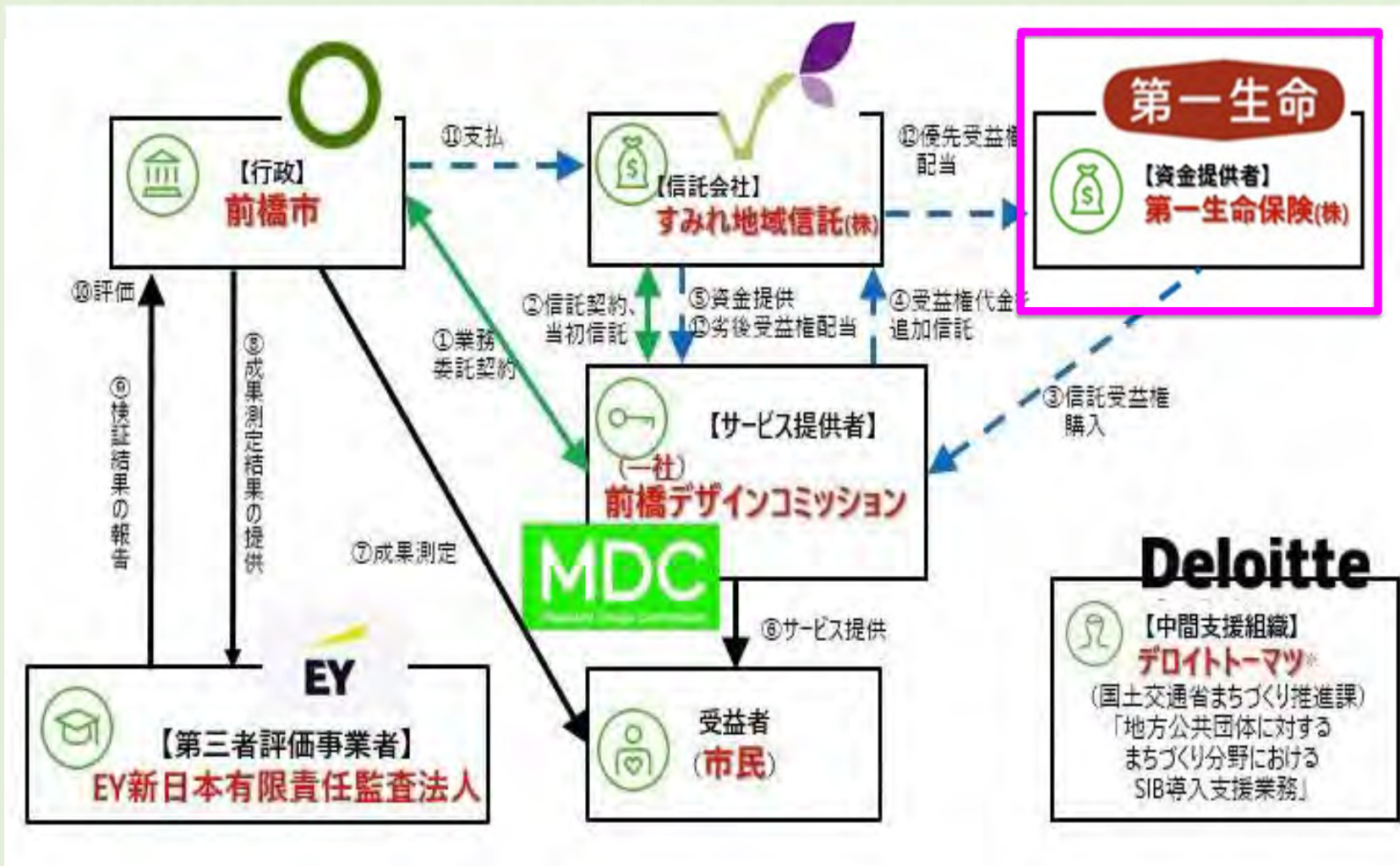


成果指標設定 ×



## 資金提供者の協力

前例が無いうえに、制度の認知度もまだ低く、事業の仕組みや予算規模について理解してもらうことのハードルが高い





## まちづくり分野における今後

### まちづくり

- ・取組みの効果が反映されるにはある程度の時間を要する
- ・経年的変化が景気動向などの外的要因に影響されやすい
- ・定性的な要素が多い

指標や評価方法に関する資料に乏しい



今後への期待

- ・適切な事業設計・評価方法の確立
- ・成果指標とアウトカムの因果関係の認定



ご清聴ありがとうございました